



レスキューサービスガイドライン

Audi e-tron



はじめに

本書は、Audi e-tron 搭乗者をレスキューする際の注意事項を記載しています。安全に作業をしていただくために、本書をよくお読みいただき、注意事項を遵守してください。

アウディジャパン株式会社

目次

1. 安全の基準	3
2. 車両の識別	4
3. 高電圧システム構成部品	5
4. 高電圧バッテリーの仕様	6
5. 高電圧システムの作業に関する安全上の注意事項	7
6. システム配置図	8
7. 高電圧システムの電源遮断	9
8. 12Vバッテリーの遮断	11
9. 充電ケーブルの取り外し	11
10.AC充電ケーブルが取り外し出来ない場合	12

法律上の注意：

このガイドラインは、交通事故時の救出に関する特別な技術的訓練を受け、本書に記載された活動を実行できるレスキューサービス要員専用で作成されています。

Audi 車の仕様とオプション装備および Audi 社が販売する車両のラインナップは変更されることがあります。そのため、本書の内容は随時変更、改訂される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご注意：

本書に記載された情報は、ユーザー、Audi 正規販売店を対象としたものではありません。

ユーザーの方は、車両の機能に関する情報や車両と乗員の安全に関する情報については、車載されている取扱説明書を参照してください。

Audi 正規販売店は、修理情報については通常のサービス情報を参照してください。

1. 安全の基本

Audi e-tron は、最大450Vの高電圧システムを使用しています。
したがって、安全に作業するための基本は、高電圧の「隔離」と「遮断」が必要です。
また、駆動用電池にリチウムイオンバッテリーを使用しています。

高電圧の隔離

- ▶ 高電圧回路は、車体と絶縁しています。
- ▶ 高電圧機器・配線には、ケース・カバーなどを設定しています。また高電圧ケーブルは、被覆をオレンジ色で統一しています。
- ▶ 高電圧機器のケースと機器内高電圧導電部は絶縁しています。

高電圧の遮断

車両の整備や事故などで高電圧系の絶縁が確保できない状況では、駆動用電池からの電流を遮断するシステムを備えています。

遮断モード

状況	システム	自動	
	メンテナンスコネクター	START STOP ボタン (イグニションスイッチ)	衝突検出
通常使用		○	
点検・整備時	○	○	
衝突時			○

レスキュー時の注意

取扱いを誤ると、感電など重大な傷害を受け、最悪の場合死に至る場合がありますので、十分注意してください。

- ① 当該車両では、最大450Vの高電圧システムを使用しています。



警告

- ▶ 重度の火傷または感電による重大な傷害や死亡といった事態を防ぐために、オレンジ色の高電圧ケーブルや高電圧部品に触れないでください。
- ▶ やむを得ず触れる場合または触れる恐れのあるときは、絶縁手袋を着用してください。

- ② リチウムイオンバッテリーの電解液に炭酸エステルを主とする有機電解液を用いています。



警告

- ▶ 電解液は無色透明で粘度は水と同程度、蒸発すると刺激臭があります。やむを得ず触れる場合はゴム手袋、保護メガネを着用して作業をおこなってください。

なお、電解液は不織布等に染み込ませてあるため、万一駆動用電池が破損しても多量に流出する恐れはありません。

- i** 事故処理後の車両保管等で関係者が車両から離れるようなケースでは、周囲の人に注意を喚起するため、「高電圧作業中・触るな」の標示をおこなってください。
※防護柵などで車両の周りを囲うことが望ましい。

2. 車両の識別

Audi e-tron (BEV)

テールゲートのe-tronロゴ



ダッシュボード上のe-tronロゴ



フロントバンパー上のe-tronロゴ



充電ソケット



充電ソケットのフラップオープンボタン



左右フロントフェンダーのe-tronロゴ

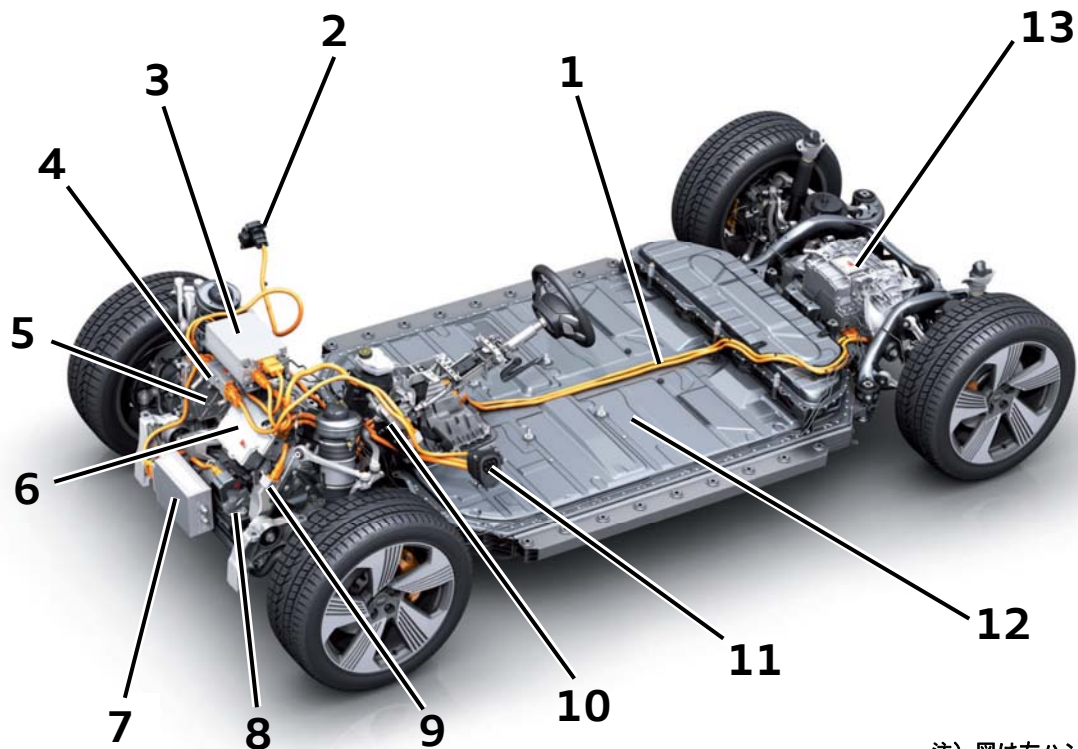
高電圧構成部品のラベル表示

以下のラベルと警告表示は、高電圧構成部品を備えていることを示しています。



3. 高電圧システム構成部品

高電圧システム構成部品の概要



注) 図は左ハンドル車の場合

1. 高電圧ケーブル(オレンジ色)
2. 充電ソケット 2
3. 高電圧バッテリーチャージユニット 1
4. 高電圧充電電流分配器
5. ボルテージコンバーター
6. フロント電動モーター (駆動用)
7. 高電圧バッテリーチャージユニット 2
8. エレクトリカルA/Cコンプレッサー
9. PTCヒーター
10. PTCヒーター 2
11. 充電ソケット 1
12. 高電圧バッテリー
フロント/リア駆動用電動モーターに必要な高電圧を供給し車両を電氣的に駆動できるようにするバッテリー
高電圧バッテリーはアンダーフロアにボルトで固定されています。
13. リア電動モーター (駆動用)

4. 高電圧バッテリーの仕様



高電圧バッテリーの仕様

製品名	リチウムイオンバッテリー
化学方式	リチウムイオンバッテリー
定格電圧	396V
セル数	432 個
容量	240Ah
充電容量	95kWh
作動温度	-28℃ ~ +60℃
重量	699kg

5. 高電圧システムの作業に関する安全上の注意事項

i 注記：不明な点がある場合は、アウディジャパン株式会社にお問い合わせください

アウディの電気自動車に対する作業の専門的な資格や高電圧システムなどのご質問は、作業を始める前にアウディジャパン株式会社にお問い合わせください。

アウディロードサイドアシスタンス フリーダイヤル **0120-598-030**

上記の窓口は緊急時のロードサービス手配窓口となりますので、お問い合わせ内容によっては、

回答にお時間をいただく場合がありますことを予めご了承ください。

! 危険：電気自動車高電圧システム

高電圧構成部品を正しく取り扱わなかった場合、高電圧部に触れるなどして人体に電流が流れることにより、致命傷を負う危険があります。

- ▶ 通電状態の構成部品により感電する危険があります。
- ▶ 重度の火傷を負ったり、または死亡する危険があります。
- ▶ 医療機器/生命維持装置をご使用の方は、健康を害する危険性があります。

- ▶ 作動中の高電圧構成部品には触れないでください。
- ▶ 高電圧システムの高電圧ケーブル（オレンジ色）に損傷を与えないでください。
- ▶ 高電圧システムを作動解除後も高電圧バッテリーから通電する可能性がありますので、直接触れないでください。
- ▶ 高電圧バッテリーに損傷を与えないでください。
- ▶ 高電圧システムに対するすべての作業は、低電圧取扱安全衛生教育研修受講者のみが実施できます。
- ▶ 医療器具を使用している方は、高電圧システム搭載車の作業は一切行わないでください。医療器具には内服鎮痛薬ポンプ、埋め込み型除細動器、ペースメーカー、インシュリンポンプおよび補聴器を含みます。
- ▶ 必ず相応の資格を持った者（上記受講者）が高電圧車両システムの電源を切ってください。
- ▶ 高電圧システムの作業やボディ関連の作業を行う前に、上記受講者はシステム電源から絶縁する必要があります。
- ▶ 上記受講者はシステムに電圧がかかっていないこと、および再起動しないことを確実に確認してください。
- ▶ 上記受講者はシステムが再起動しないように、リモコンキーを5m以上離れた場所に置いてください。
- ▶ 上記受講者は、該当する標識を取り付けることにより車両に電圧がかかっていないことを明示します。

特別情報：

車両火災

! 消火時には、通常必要な安全距離を確保してください。

消火剤

! 消火器（油火災：ガソリン、石油、油などによる火災、および電気火災：電気配線、電気機器などによる火災に有効な消火器）で消火してください。

初期消火活動

! 少量の水による消火はかえって危険な場合があるため、水を掛ける場合は消火栓などから大量に放水するか、消防隊の到着を待ってください。

車両の水没

i Audi e-tron が水没した場合、通常は車体に電圧がかかる危険はありません。

i 車両を引き上げた後、レスキューサービス要員は室内から水を抜いてください。車両での作業は、その後に行ってください（緊急サービスに関する指示を遵守してください）。

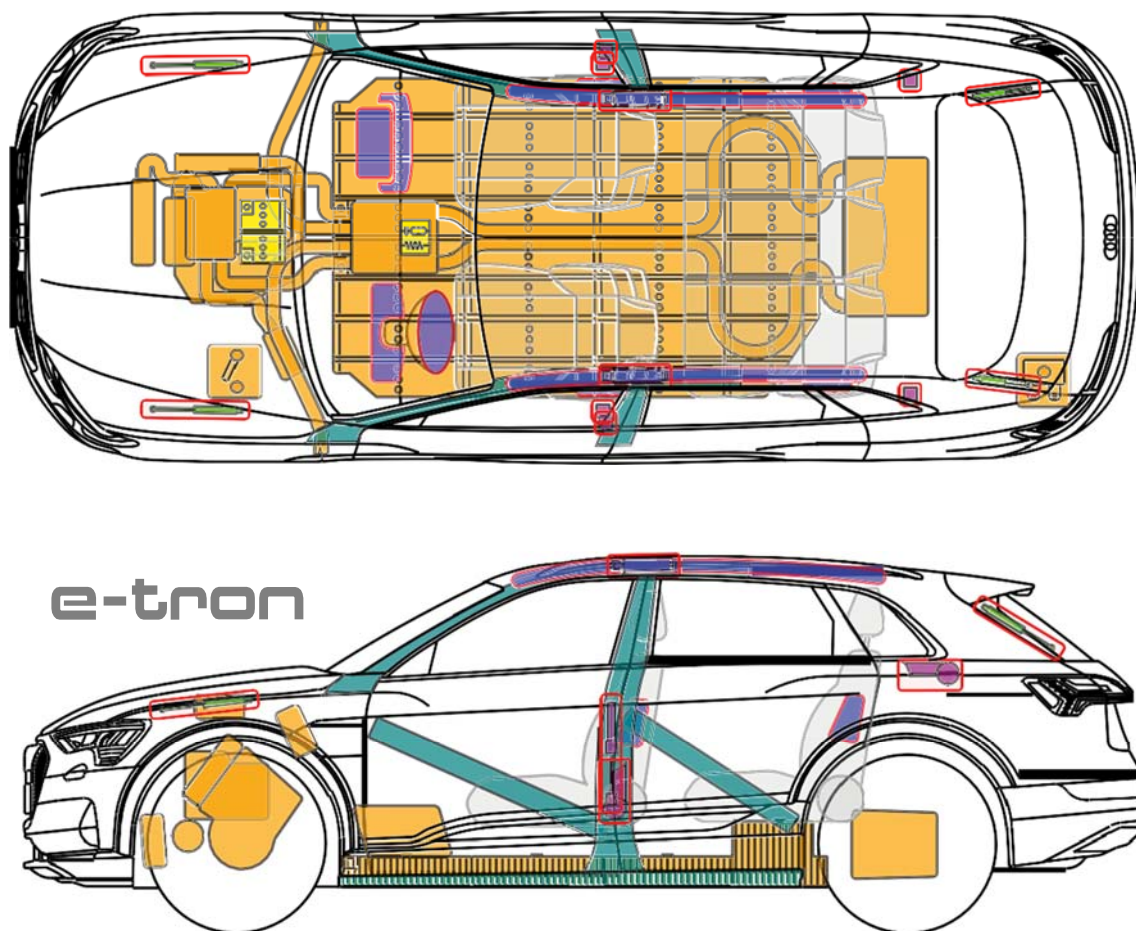
! 水害などで徐々に浸水した場合は漏電の危険性は少ないです。ただし、土石流や津波などに巻き込まれ、車体そのものが激しく損傷している場合は、漏電の危険性があります。








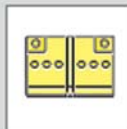





6. システム配置図

事故に巻き込まれた場合（路上事故や車両火災）、レスキューサービス要員は次の指示を遵守する必要があります。

- 車両の識別
- 慎重な作業

レスキュー作業に関連する高電圧システム部品の位置は、以下を参照してください。



	エアバック		ボディ補強		コントロールユニット		高電圧バッテリー		ヒューズキャリア
	ガスジェネレーター		ロールオーバープロテクション *本モデル対象外		12Vバッテリー		高電圧機器/配線		
	ベルトテンショナー		ガスストラット		燃料タンク		高電圧遮断ポイント		

7. 高電圧システムの電源遮断

- ▶ モーター等の作動音が聞こえなくとも、車両が走行可能な状態にある可能性があります。
- ▶ 高電圧部品を誤って取り扱うと、高電圧の電流が人体に流れ、生命の危険につながります。
- ▶ 高電圧システムを作動停止した後も、高電圧バッテリーには電圧がかかっています。高電圧バッテリーを損傷させたり、また開封したりしないでください。
- ▶ 高電圧ケーブルの絶縁被覆はオレンジ色です。高電圧ケーブルを損傷させたり、適切な資格のない要員が高電圧システムから切り離すことのないようにしてください。
- ▶ 車両での作業時に高電圧部品との接触が避けられない場合は、必ず適切な資格を持つ要員（低電圧取扱安全衛生教育研修受講者）が作業を行ってください。

i 注記：高電圧システムの電源遮断

高電圧システムに対する作業の専門的な資格や高電圧システムに関する質問あるいは疑問がある場合は、作業を始める前にアウディジャパン株式会社にお問い合わせください。

ここに記載されている作業は低電圧取扱安全衛生教育研修受講者が絶縁グローブを着用し行う必要があります。安全に関する指示を厳守してください。

車両の固定

電動モーターによって駆動される車両の場合、走行できる状態であるかどうかは作動音では判別できません。車両が停車している時は電動モーターの作動音はしません。



1.ギヤをPポジションに入れる。
(ギヤシフトPボタンを押す)



2.パーキングブレーキをかける

イグニッションをオフにする

ブレーキペダルを踏まずにSTART STOP ボタンを押す

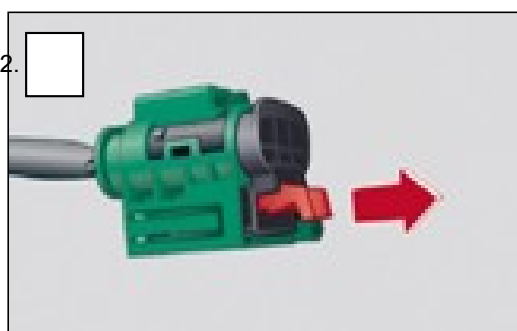
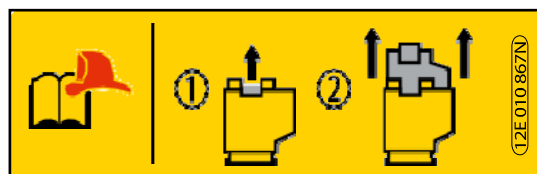
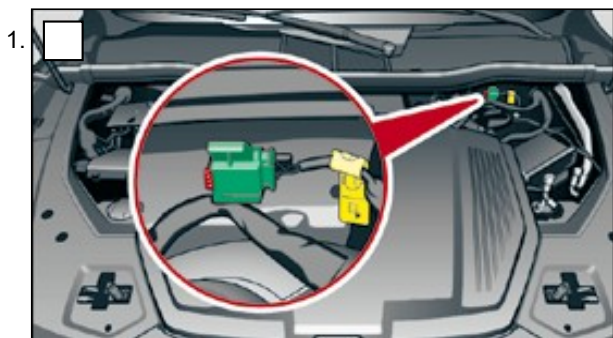


注意: ブレーキペダルを踏んだままSTART STOP ボタンを押すと、車両のメーター上の表示は **Ready** に切り替わります。

車両を **Ready** に切り替させないために、必ずリモコンキーを車両から5 m以上離れた場所に置く。

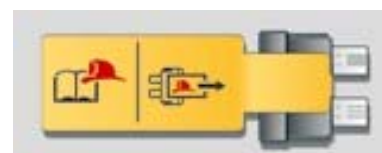
選択肢その1：エンジンルーム内（ボンネットを開けることができる場合）

1. プレナムチャンバー横の左側にあるコネクターを見つけます
2. コネクターから赤いタブを引き出します
3. 赤いタブを押しながら黒いプラグを引き出します（イラスト参照）



選択肢その2：車室内のエマージェンシーヒューズ（ボンネットが開かない場合）

1. ラゲッジルームフロアカバーを取り外す。
2. ラゲッジルーム内左側にあるヒューズボックスカバーを取り外す。
3. エマージェンシーヒューズ識別タブが付いているヒューズを取り外す。



8. 12V バッテリーの遮断

12Vバッテリーはエンジンルーム内室内側のカバー下、プレナムパネル奥に取り付けられている。

⚠ 12Vバッテリーの接続を切り離す前に、前頁に記載のある車室内のエマージェンシーヒューズを取り外す事。

12Vバッテリーのマイナスケーブルはエンジンルーム内右ストラットタワーに接続されている。（写真1）

バッテリーマイナスケーブルの固定ナットを右ストラットタワーより取り外す。（写真2）



写真1



写真2

12Vバッテリーはプレナムチャンバーカバー、メインヒューズキャリアを取り外すことでアクセスすることが出来る。（写真3、写真4、写真5）



写真3

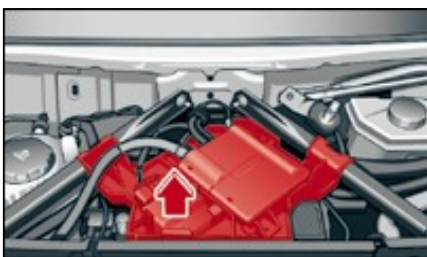


写真4

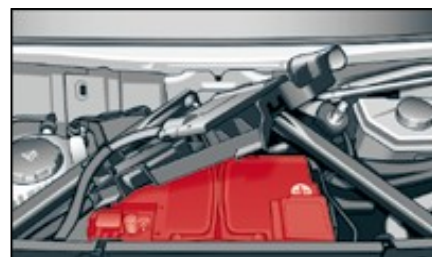


写真5

9. 充電ケーブルの取り外し

車両にAC充電ケーブルが接続されている状態

- 1.室内にあるドアアンロックボタンを押して車両のロックを解除する。
 - 2.リモコンキーのアンロックボタンを押して車両のロックを解除する。
 - 3.AC充電ケーブルを取り外す（日本仕様のAC充電ソケットは右側に装着）
- * 車両がロックされるとAC充電ケーブルもロックされる。



i 注記：AC充電ケーブルが取り外せない場合

- ▶AC充電が終了していることを確認する。（車両側、充電器側共に確認する事）
 - ▶ギヤがPポジションに入っている事を確認する。
 - ▶ドアロックが解除されている事を確認する。
 - ▶ボンネットを開ける。
 - ▶エンジンルーム内右ボンネットヒンジ付近にあるカバーを開く。（写真1、赤色矢印部分）
 - ▶開いたカバー内にある黄色いリングを慎重に引く（3～4cm）。（写真1、黄色矢印部分のリング）
- (注) リングを引く際に無理に強い力で、又は一気に強い力で引くとリングが破損する恐れがある。**
- ▶黄色いリングを引くことによりロックが解除される。AC充電ケーブルを取り外す。



写真1

- (注) DC充電ケーブルのロック解除は、充電器側で制御しているため、DC充電器側でロック解除する必要があります。（充電プロセスを終了させる）**
- DC充電ケーブルは、車両の左側フラップ内に接続される。（写真2）**



写真2